

はじめに

産業連関表とは、ある国や地域の一年間における産業どうしの取引、つまり財とサービスの流れを一つの表にまとめたものです。この表により、国家や地域の経済規模や構造を把握したり、経済波及効果のシミュレーションなどを行うことが可能となります。

堺市の産業連関表については、既に旧(公益財団法人)堺都市政策研究所が当時大阪府立大学の方々のご協力も得て平成7年表、平成12年表、平成17年表、平成23年表を作成してきたところです。この度、これまでの成果を下敷きとしつつ、新たに平成27年堺市産業連関表を当センターが作成しました。

この産業連関表を作成するにあたっては、堺市の特色を活かした産業連関表になることに重点をおいています。すなわち堺市のデータとして把握されている数値についてはできるだけそれを使用し、堺市のデータが不十分な箇所については全国表や大阪府表の数値を参考にして、それらを堺市に適応する形で修正したものを使用しました。

本書は5章から成り立っています。第1章は、産業連関表および用語の解説であり、第2章は、堺市産業連関表からみた堺市の経済構造を紹介しています。第3章では、堺市産業連関表の作成方法を説明しています。第4章は、堺市の産業連関表の利用例であり、例えば1億円の公共投資がなされた時にどれほどの経済波及効果が堺市に生まれるかについて推計しています。最後の第5章はまとめであり、付表として産業連関表の計数表を添付しています。

なお、本産業連関表の作成にあたりましては、大阪府総務部統計課および桃山学院大学経済学部井田憲計准教授に多大なるご尽力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。今後、各方面における計画・施策立案及び経済分析のツールとして本産業連関表が活用されれば幸いです。

令和3年3月

公益財団法人 堺市産業振興センター